

日本学術会議の法人化とは？

—学問の破壊は戦争につながる—

日時：5月17日（土）午後2時（1時45分開場）～5時

場所：明治大学駿河台校舎（JR 御茶ノ水駅から徒歩5分）

リバティタワー1155 教室 資料代：1,000円（学生500円）

【報告】西川伸一さん（明治大学政治経済学部教授）

すり替えは許されない—「学問の自由」が押し流される岐路に立って
ことし3月に現在の日本学術会議法を廃止し、特殊法人としての「学術会議」を作
るといふ法案が国会に提出された。時の政権による任命拒否を発端とするこの
「問題」は、学術会議を骨抜きにする策動へとすり替えられ、ついにそれが法定さ
れる寸前。いまや「学問の自由」が押し流される岐路に私たちは立っている。

【報告】本田由紀さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

日本学術会議法案の問題点

3月7日に閣議決定され国会に提出された日本学術会議法案は、法人化という
根幹に加えて学術の独立性を脅かす多数の問題点を含んでいる。新旧の法案
の比較によりその問題をあぶり出すとともに、先んじて法人化された国立大学の
窮状とも合わせて、学術への国家権力の介入という危機的状況について論じる。

【コメンテーター】岩垂弘さん（ジャーナリスト、元朝日新聞）

【司会】竹内栄美子さん（明治大学文学部教授）



主催：メディアネットちきゅう座
(代表 合澤清)

協賛：リベラル21

レイバーネットTV

アソシエーションだるま舎

問合せ先

chikyuzanet@shintoshin.nir.jp